

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、「3つの見届ける」を徹底しましょう。

《自校の課題として取り上げたい問題》

平均正答率 県 (%) 自校 (%)

★課題となっていることの要因や背景

1 児童生徒の実態から

2 教師の指導から

☆指導上の改善点（見届けの徹底を図るための場や方途）

国語の授業では、

※課題となった問題にもう一度チャレンジさせ、学年の内容を指導しきりましょう。

平成 26 年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査 <国語>

概要

小学校第4学年

県平均正答率 67.1%
 A問題 73.6%
 B問題 59.5%
 自校平均正答率[]%
 A問題 []%
 B問題 []%

<おおむね身に付いている力>

- ・小学校4年生で習った漢字を正しく読むことができる。
- ・国語辞典を正しく利用して調べることができる。

<課題となる力>

- ・ローマ字を正しく読むことができる。
- ・つなぎ言葉を使って一文を二文に分けて書くことができる。
- ・目的に応じて、読んで考えたことをまとめることができる。

小学校第5学年

県平均正答率 67.5%
 A問題 70.8%
 B問題 64.7%
 自校平均正答率[]%
 A問題 []%
 B問題 []%

<おおむね身に付いている力>

- ・小学校5年生で習った漢字を正しく読むことができる。
- ・自分の考えと比べながら共通点やちがう点を整理することができる。

<課題となる力>

- ・小学校4年生までに習った漢字を正しく書くことができる。
- ・故事成語の意味と使い方を理解することができる。
- ・一人一人の感じ方や考え方のちがいに気付くことができる。

中学校第2学年

県平均正答率 68.6%
 A問題 66.2%
 B問題 71.0%
 自校平均正答率[]%
 A問題 []%
 B問題 []%

<おおむね身に付いている力>

- ・中学校2年生で習った漢字を正しく読むことができる。
- ・敬語を正しく使うことができる。

<課題となる力>

- ・小学校6年生までに習った漢字を正しく書くことができる。
- ・単語の類別や単語の活用を正しく理解している。
- ・伝えたい事実や事柄の根拠を明確にし、効果的に文章を書くことができる。

【平成 26 年度全国学力・学習状況調査の設問と同一、類似問題（一部）の正答率】（国語）

問題番号	平成 26 年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			平成 26 年度 全国学力・学習状況調査			
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県	全国
小4 ㉓二 同一	漢字を正しく書くことができる。 「さら」	%	96.4%	A㉓二 (1)	%	98.1%	97.8%
小5 ㉓(3) 同一	漢字を正しく書くことができる。 「いわう」	%	47.7%	A㉓二 (2)	%	56.9%	59.3%
中2 ㉓一7 類似	漢字を正しく書くことができる。 「半ケイ」	%	58.0%	A㉓一 2	%	54.9%	59.5%
小4	㉓ 類似	%	85.8%	A㉓	%	72.1%	74.3%
	㉓ 類似	%	63.2%	A㉓ 一二	%	46.5%	52.8%
小5	㉓(3) 同一	%	65.9%	A㉓一 (3)	%	67.2%	74.4%
	㉓ 同一	%	48.6%	A㉓ 一	%	43.5%	55.8%
中2	㉓二 2	%	79.4%	A㉓三 ウ	%	84.8%	80.8%
	㉓四 類似	%	61.5%	A㉓ 二	%	82.3%	80.5%

国語 調査結果と指導の改善

自校の調査結果をチェック①

文の定義を理解し、構成に注意して書く指導を行っていますか。

調査結果 問題及び平均正答率

- ◆小学校第4学年
 - 因 つなぎ言葉を使って一文を二文に分けて書くことができる。 県 58.6% 自校 _____ %
- ◆小学校第5学年
 - 田三 目的に応じて、理由をあげて書くことができる。 県 55.2% 自校 _____ %
- ◆中学校第2学年
 - 日四 叙述の仕方を確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすることができる。 県 61.5% 自校 _____ %

指導改善のポイント①

○ 学年の段階に応じた、文や文章の構成についての指導の充実を図りましょう。
 文の定義や文及び文章の構成については、学年の段階に応じた指導が重要です。例えば、
【低学年】 「文の中における主語と述語との関係に注意すること。」
【中学年】 「指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと。」
【高学年】 「文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。」
【中学校】 「文の中の文の成分や順序や照応、文の構成について考えること。」
 をそれぞれ重点的に指導することが大切です。
 特に高学年では、文の構造として単文、重文、複文があることを理解できるようにすることが大切です。
 そのためには、一つの内容を一つの文に簡潔に書いたり、二つ以上の内容を、必要に応じて一つの文にまとめて書いたりする指導が考えられます。また、その反対に二つ以上の内容が含まれた一文を内容ごとに複数の文に分けて書いたり、箇条書きにしたりするなど、目的に応じて書き分ける指導も大切です。

習熟問題①（平成25年度 全国学力・学習状況調査 小学校第6学年国語A国より）

次の【文章の一部】は、六年生の高島さんが五年生のときから続けている放送委員の仕事について書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

- 1 【文章の一部】の中には、いくつかの文があります。それぞれの文のはじめの五文字を丸で囲みましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。
- 2 【文章の一部】の中の____部を、主語に着目し、「だから」を使って二つの内容に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「だから」に続く七文字を書きましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

新しく委員になった五年生は、～（中略）～。だから、～（中略）～教えてあげたいと思った。

★過去問題に挑戦

- ～全国学力・学習状況調査より～
- ◆小学校第6学年
 - H20A 「文章を推敲（すいこう）する」
 - H21A 「一文を二文に分ける」
 - H22A 「文の論理を考えて書く」
 - H23A 「表現の効果を考えて書き換える」
 - H24A 「新聞の報道記事のリードを書く」
 - H25A 「文の構成を捉える」
 - H26A 「適切な表現にして書く」
 - ◆中学校第3学年
 - H20A 「評価・批評を推敲に生かす」
 - H21A 「提案する文章を書く」
 - H22A 「案内文を書く」
 - H23A 「文章を推敲する」
 - H24A 「図を用いた文章を書く」
 - H25A 「グラフを基に文章を書く」
 - H26A 「ウェブページを作成する」

自校の調査結果をチェック②

すべての領域で、自分の考えを工夫して記述する指導を行っていますか。

調査結果 問題及び平均正答率

- ◆小学校第4学年
 - 因四 目的に応じて、理由をあげて書くことができる。 県 37.0% 自校 _____ %
- ◆小学校第5学年
 - 因五 一人一人の感じ方や考え方のちがいに気付くことができる。 県 38.2% 自校 _____ %
- ◆中学校第2学年
 - 日三 伝えたい事実や事柄の根拠を明確にし、効果的に文章を書くことができる。 県 46.6% 自校 _____ %

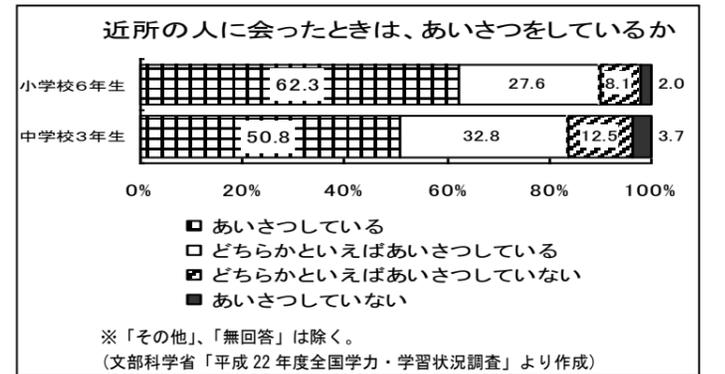
指導改善のポイント②

○ 3領域1事項を踏まえた系統的・計画的な記述の指導の充実を図りましょう。
 記述の指導では、「話すことを書く（記述する）」、「聞いたことを書く（記述する）」、「読んだことを書く（記述する）」など、すべての領域の活動と関連させることが重要です。そのために、3領域1事項を指導する中で、必要とされる記述の中身を系統的・計画的に指導します。例えば、
【低学年】 「語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。」
【中学年】 「書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」
【高学年】 「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて書くこと。」
【中学校】 「文章の中の自分の考えや気持ちについての根拠が、明確に書かれているかを吟味すること。」
 を意識して指導することが大切です。
 特に「読むこと」領域では、本時の学習のまとめの時間に、定着状況を見届ける上で書くことを位置付けることが大切です。根拠となる事柄を具体的かつ正確に取り上げながら、自分の考えを書くように指導しきることが重要です。
 「3つの見届ける」(H27. 1. 14) 参照

習熟問題②（平成24年度 岐阜県立高等学校入学者選抜学力検査問題国より）

右のグラフは、全国の小・中学生を対象に行った調査で、「近所の人に出会ったときは、あいさつをしているか」を尋ねた結果をもとに作成したものである。このグラフを見て、後の問いに答えなさい。

- 1 右のグラフの小学校6年生と中学校3年生とを比較して、わかることを書きなさい。
- 2 このグラフをもとにあいさつについてクラスで話し合いをした。話し合いの中で、「近所の人に出会ったとき、あいさつをすることは大切だと思うが、なんだか恥ずかしくてできない。」という意見が出た。この意見に対するあなたの考えを書きなさい。段落構成は二段落構成とし、第一段落ではこの意見に対するあなたの考えを、第二段落ではそのように考えた理由を具体的な例、あるいはあなたの体験を交えて書きなさい。



★過去問題に挑戦

- ～全国学力・学習状況調査より～
- ◆小学校第6学年
 - H22B 「読書発表会をする〈つりずきの宇宙人〉」
 - H24B 「雑誌を効果的に読む〈特集「マラソン」〉」
 - ◆中学校第3学年
 - H22B 「情報を読む（新聞）」
 - H23B 「図表を用いた文章を読む（ピクトグラム）」